
第 72 回数理社会学会大会 (JAMS72) プログラム (大会前確定版)

日時：2022 年 3 月 12 日 (土) ~ 3 月 13 日 (日)

会場：オンライン (Zoom)

大会委員長：三輪哲 (東京大学)

1 参加費：

一般 (会員) 無料 学生・院生 (会員) 無料
一般 (非会員) 5,000 円 学生・院生 (非会員) 2,000 円

2 懇親会：オンライン上での懇親会を念頭に置いているため、会費はかかりません。

3 参加登録

- ・ 以下の URL に参加登録をお願いします。
- ・ 非会員の方は事前登録の上参加費を納めることで学会大会に参加していただけます。非会員の参加登録の締め切りは **2022 年 2 月 26 日 (土)** です。参加登録をされた方に振り込み案内メールをお送りしますので、振り込みをお願いします。振り込みの締め切りは **2022 年 3 月 5 日 (土)** です。

【非会員用】参加登録申し込みフォーム：<https://forms.gle/H7upyGfwmuMFBu136>

会員の方も参加人数の事前把握のために、参加予定の方は事前登録をお願いします。参加登録の締め切りは **2022 年 3 月 5 日 (土)** です。

【会員用】参加登録申し込みフォーム：<https://forms.gle/oa3sB761cpNgSthJ7>

4 参加方法

- ・ 参加登録済みの方々に対して、事前に Zoom の招待メールを登録メールアドレスにお送りします。
- ・ 会員向けには、会員メーリングリストでも Zoom の招待情報をお送りします。
- ・ 参加方法の詳細と当日の注意点についても招待メールと同時に お送りします。

5 主なスケジュール

	時間	Zoom 1	Zoom 2
3月11日	15:00~17:00	ワンステップアップ・セミナー	
3月12日	9:30~10:45	自由報告 I (第 1 部会)	自由報告 I (第 2 部会)
	11:00~12:15	自由報告 II (第 3 部会)	自由報告 II (第 4 部会)
	12:15~13:15	昼食休憩	
	13:15~14:45	萌芽的セッション I (会場 1)	萌芽的セッション I (会場 2)
	15:15~16:30	会員発案企画	
	16:45~17:45		総会 (会員のみ)
	18:00~19:00	懇親会	
3月13日	9:30~11:00	萌芽的セッション II (会場 1)	萌芽的セッション II (会場 2)
	11:15~12:30	自由報告 III (第 5 部会)	自由報告 III (第 6 部会)

6 口頭報告者へのお願い (自由報告)

- ・ 報告 15 分, 討論 10 分です。
- ・ Zoom セッションにて画面共有機能を用いてスライド等を提示して発表することができます。
- ・ 当日配付資料は事前に提出いただきますと大会用オンラインストレージで共有することが可能です (提出方法については報告者に別途連絡します)。
- ・ (司会者の方々へ) 部会開始 5 分前に集合ください。報告 12 分で 1 鈴, 15 分 2 鈴, 25 分 3 鈴を鳴らします。

7 萌芽的セッション報告者へのお願い (萌芽的セッション報告)

- ・ ポスター等の報告資料を, 学会大会の概ね一週間前に提出してもらい, 大会期間中会員のみで大会用オンラインストレージにて公開します。報告資料は最大 A0 判のポスターに準じた情報量を目安とします。
- ・ また, ポスター等の報告資料に基づいて, セッションの割り当てられた時間帯に Zoom のブレイクアウトルームにて発表をしていただきます。
- ・ 報告資料の提出方法ならびに Zoom のブレイクアウトルームに関する情報については報告者に別途連絡します。

8 問い合わせ先

研究事務局 〒980-0845 宮城県仙台市 青葉区川内 27-1

東北大学大学院文学研究科 瀧川 裕貴

E-mail: jams.research[at]gmail.com

大会開催校 〒113-8654 東京都文京区本郷 7 丁目 3 - 1

東京大学 社会科学研究所 三輪 哲

E-mail: jams.meeting72[at]gmail.com (一般的な問い合わせ)

3月11日(金)

13:00~15:00	編集委員会	Zoom
13:30~15:00	研究活動委員会	Zoom
15:00~17:00	ワンステップアップ・セミナー	Zoom
17:00~19:00	理事会	Zoom

3月12日(土)

09:00 開場

09:25 開会挨拶 大会委員長 三輪哲 Zoom 1

09:30~10:45 自由報告 I

【第1部会】 数理 Zoom 1

司会 大林真也(青山学院大学)

1	評判情報の取捨選択および社会規範が協力行動に与える影響	○和田匠海(筑波大学), 秋山英三(筑波大学)
2	雪害がモンゴル遊牧民の格差を拡大させるメカニズム:アリー効果に注目した分析	○毛塚和宏(東京工業大学), 柿沼薫(上海大学・東北大学), 田村光平(東北大学), 瀧川裕貴(東北大学), 藤岡悠一郎(九州大学)
3	野党共闘勢力は前進している—第49回衆議院選挙結果の定量的解析—	嶋田一郎(東北大学)

【第2部会】 移民 Zoom 2

司会 金澤悠介(立命館大学)

1	IAT 課題を用いたウェブ調査による韓国人に対する潜在的/顕在的偏見検証の試み	○永吉希久子(東京大学), 潮村公弘(フェリス女学院大学), 田辺俊介(早稲田大学), 齋藤僚介(大阪大学), 瀧川裕貴(東北大学)
2	Best 尺度法による反移民的態度尺度作成	○柏原 宗一郎(関西学院大学), 清水 裕士(関西学院大学)

3	居住移動からみる移民の都市編入 —東京都市圏における中国系移民の居住トラジェクトリー—	梁昊（一橋大学大学院）
---	--	-------------

****休憩（15分）****

11:00～12:15 自由報告 II

【第3部会】 コロナ・子ども

Zoom 1

司会 多喜弘文（法政大学）

1	テレワーク実施可能性の格差は拡大したのか：COVID-19 前後の時系列比較分析	○麦山亮太（学習院大学）、 小松恭子（労働政策研究・研修機構）
2	高齢者のコロナ禍への認識に関するジェンダー差	白波瀬佐和子（東京大学大学院）
3	子どもの貧困とウェルビーイング：初の全国調査による実態解明	小林 盾（成蹊大学）

【第4部会】 階層

Zoom 2

司会 藤原翔（東京大学）

1	Horizontal Educational Stratification through a Genetic Lens: Effects of Social Background and Genetic Endowment on College Selectivity and Wages	○ Fumiya Uchikoshi (Princeton University) , Dalton Conley (Princeton University)
2	高年齢者の職業移動とスキル移転	新田真悟（東京大学大学院）
3	祖父母のもつ文化・経済資本が孫の教育達成に及ぼす影響—資本の腐りやすさと有形・無形に着目して—	石橋拳（専修大学大学院）

****昼食休憩（60分）****

13:15～14:45 萌芽的セッション I

会場 1

Zoom 1

1	子育て世帯が最も困窮しているのか?:コロナ過における仕事への影響と給付金	百瀬 由璃絵（東京大学）
2	中国における世代間関係—潜在クラス分析による検討—	楊葉（慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻）
3	ソーシャルメディア上での行動と社会階層との関連：ツイート・サーベイ統合データの擬似予測法（fictitious prediction）による分	○瀧川裕貴（東北大学）、水野誠（明治大学）

	析	
4	転職者の仕事満足はどうか	劉思良 (大阪大学)
5	圏論による W.ベンヤミンの神的暴力の社会学的可能性	大山智徳 (無所属)
6	パネルデータの脱落・補正に関する分析 JLPS・KHPS・21世紀出生児縦断調査の比較を通して	○陳テイテイ (慶應義塾大学・院) 北村友宏 (慶應義塾大学・院) 竹ノ下弘久 (慶應義塾大学) 藤間公太 (国立社会保障・人口問題研究所)
7	日本留学の動機はなにか：外国人留学生への量的調査の分析	森田 厚 (成蹊大学大学院)
8	人口密度の影響を考慮した移住・意見形成モデル	堀内史朗 (阪南大学)
9	産業連関構造のネットワーク分析方法の比較：Z スコア法と反復スケーリング法	金光 淳 (京都産業大学現代社会学部)

会場 2

Zoom 2

1	非営利組織活動の継続可能性——社会学領域の組織理論に基づく調査結果から	横山麻衣 (静岡大学)
2	STEM に関する就学前教育とジェンダー	田邊和彦 (大阪大学大学院・日本学術振興会)
3	エスノ・ナショナルアイデンティティのファジィ集合分析	石田淳 (関西学院大学)
4	戦後日本の社会学におけるソシオメトリーの受容と衰退	鈴木努 (東北学院大学)
5	コンジョイント調査におけるフレーミングの違いがストレートライナーに及ぼす影響	○稲垣佑典 (総務省統計局/統計数理研究所) 加藤直子 (データサイエンス共同利用基盤施設/統計数理研究所) 前田忠彦 (統計数理研究所/データサイエンス共同利用基盤施設)
6	地域と健康行動：東大社研パネル調査を用いた分析	○石田浩 (東京大学)・米倉佑貴 (聖路加国際大学)・大久保将貴 (東京大学)
7	家事分担の緩やかな平等化と社会的フレーミングメカニズム	尾藤央延 (大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程, 日本学術振興会特別研究員 DC)
8	販売店の選択における相対的思考に関する実験的研究	薬師寺一憲 (大阪府立大学経済学研究科)
9	2021 年衆議院選挙の争点と投票行動：社会階層間の差異に注目して	山本英弘 (筑波大学)

****休憩（30分）****

15:15～16:30 会員発案企画

【書評部会】ジレンマ研究の現状と課題：海野道郎『社会的ジレンマ』・ Zoom 1
盛山和夫『協力の条件』書評とリプライ
司会 山本英弘（筑波大学）、関口卓也（理化学研究所）

1	ゲーム理論の観点からの報告	大浦宏邦（帝京大学）
2	囚人のジレンマ・社会的ジレンマの実証研究の困難さ	辻竜平（近畿大学）
3	実証的コモンズ研究の立場から	林雅秀（山形大学）
4	リプライ	海野道郎（東北大学）
5	リプライ	盛山和夫（東京大学）

****休憩（15分）****

16:45～17:45 総会 Zoom 2

****休憩（15分）****

18:00～19:00 懇親会 Zoom 1

3月13日(日)

09:00 開場

09:30~11:00 萌芽的セッションII

会場1

Zoom 1

1	新聞記事にみる生活保護表象:1986~2021年データを用いた構造トピックモデル	○伊藤 理史(京都産業大学),永吉 希久子(東京大学)
2	オンラインパネルモニタ構築による社会科学研究の可能性——SSJDA Panelと調査会社のアンケートモニタの比較から	○石田賢示・谷口沙恵・藤原翔(東京大学社会科学研究所)
3	学力におけるきょうだいの類似性と世帯収入	中村聖(北海道大学大学院)
4	欠測が多い項目における欠測理由の要因分析—収入と性交渉の頻度を例として—	○石橋拳(専修大学大学院),前田忠彦(データサイエンス共同利用基盤施設/統計数理研究所)
5	理工系出身者の賃金が高いのは本当なのか?	豊永耕平(立教大学)
6	下位制度の理論(1)	志田基与師(無所属)
7	Personal network dynamics and their patterns after the Great East Japan Earthquake	鈴木 伸生(岩手県立大学)
8	熟慮による偏見の表明:IAT測定と二重過程理論の観点から	○齋藤僚介(大阪大学),瀧川裕貴(東北大学),潮村公弘(フェリス学院大学),田辺俊介(早稲田大学),永吉希久子(東京大学)
9	態度の測定理論を考える 公理的測定論と確率モデルの接合	清水裕士(関西学院大学)
10	国公立大学における女性比率と選抜度の関連に関する基礎的分析:受験浪人の役割	打越文弥(プリンストン大学)

会場2

Zoom 2

1	トラッキングによる高等教育進学への水路付け効果はどこでみられるか? ※報告取り下げ	田垣内義浩(東京大学大学院)
2	「社会的価値観は変わるか」再考—日本人の国民性調査を用いた検討	前田忠彦(統計数理研究所)
3	東京オリンピック開催がナショナルプライドに与えた影響の検証	下窪拓也(新潟医療福祉大学)
4	海外で働く日本人女性の就業状況とキャリア意識	元治 恵子(明星大学文学部)
5	新型コロナウイルスのワクチン接種におけるピア・プレッシャー	辻 竜平(近畿大学)
6	学歴の異なる他者に対する社会的寛容性の構造	大崎裕子(東京大学)

7	中学生の通塾の因果効果——パネルデータと傾向スコアを用いた分析	森 いづみ(上智大学/日本学術振興会)
8	誰がなぜ AI による意思決定を支持するのか: 潜在クラス分析によるアプローチ	山本耕平(公益社団法人国際経済労働研究所)
9	シグナルとしての手続き的選好表明: 2人判断集計の場合	関口卓也(理化学研究所)
10	いかにして他者をわかろうとするのか: 恋愛に関する雑誌記事を手がかりにして	小田中悠(東京大学)

****休憩(15分)****

11:15~12:30 自由報告 III

【第5部会】 社会と調査

Zoom 1

司会 石田淳(関西学院大学)

1	セクシュアル・ハラスメントにおける不快感の促進要因	○ 太郎丸 博(京都大学)・横澤 翠子(京都大学)・沼田詩暖(京都大学)
2	現代日本における若年・壮年層の住宅所有形態の変化—系列分析を用いた住宅歴の類型化—	村上あかね(桃山学院大学)・○李擎月(東北大学大学院)
3	「メンヘラ」と自己愛傾向・セルフモニタリングの関連	○高桑蘭佳(東京工業大学), 伊藤智彦(株式会社メンヘラテクノロジー)

【第6部会】 方法

Zoom 2

司会 前田忠彦(統計数理研究所)

1	オープンソース GIS 版『聞き書きマップ』の開発 — 市民参加型データサイエンスに向けた試み —	原田 豊(立正大学)
2	調査現場での自由回答追加情報収集支援システム—職業コーディングにおける提案システムの実装とコードによる評価—	○高橋 和子(敬愛大学)・奥村 学(東京工業大学)・鈴木 泰山((株)ピコラボ)・鈴木 佑京((株)ピコラボ)

(備考)

- 印は登壇者を示します。[E] は英語による報告です。The [E] symbol stands for English presentations.
- Zoom ミーティング招待情報, 大会用オンラインストレージへのアクセス情報は, 大会直前に登録メールアドレスならびに会員メーリングリストにて告知します。

3. ワンステップアップ・セミナー参加（無料）には申し込みが必要です。詳細はセミナー案内をご覧ください。

（変更履歴）

2022年3月6日 確定版プログラム